




題字 小川 東州


社団法人日本産業カウンセラー協会北海道支部
〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目6-1 ストックマンション札幌308号
TEL&FAX 011-736-2333 ホームページ <http://www.do-counselor.jp>

第三回北海道支部通常総会が 開催されました

6月24日(土)札幌サンプラザにおいて、本部より荒井常務理事をお迎えし、「第三回日本産業カウンセラー協会北海道支部通常総会」が開催されました。

はじめに桑原支部長より「メンタルヘルスの相談とその具体的なシステム作りが出来、又カウンセラーの派遣やホットラインも引くことが出来、なおかつ全道エリアをカバーできる組織として認知されてきており、いくつかの事業所から具体的な相談が増えています。これもひとえに会員の皆様が日々努力をし、それぞれの地域でご信頼を頂けている賜であり、心から感謝申し上げます。今後も皆様方



冒頭であいさつする桑原支部長

と一緒に、働く人たちのサポートが出来る、あてになる、非常に信頼のおける支部を作って参りたい、また地域の中で躍進して参りたいと思います。」と挨拶がありました。

続いて、荒井通子常務理事より「産業カウンセラー協会がこれからどの様に動いていくのか」という視点で「資格登録制度・資格更新制度の発足について」「倫理綱領の改定について」「各種資格試験制度の変更に関わる取組みとその管理システムについて」「各分野のプロフェッショナルを育成するための準備」「事業活動の本格的な推進」「協会本部と各支部との組織機構の一本化」など、これから着手するものも含め紹介があり、「皆様がますます手堅く発展していきますよう、協会本部からもバックアップしていきたいと思います。」とのご挨拶をいただきました。



荒井通子常務理事

次に5月27日に九州で開催された第36回日本産業カウンセラー協会通常総会について吉田養成講座部長から報告があり、その後、進行役の山村相談部長より定足数の確認が行われ、平成18年3月末の登録会員数267名のうち、総会出席者29名、委任状提出者116名の合計145名が出席となり、正会員数の過半数を超える出席が確認されたことにより、総会が有効に成立していることが報告され、支部規定に基づき議長に桑原支部長が就任し、議事録署名人として泉澤裕子さん、山下光子さんが指名され、議事へと進みました。

(次ページへ)

平成17年度事業報告及び収支決算報告は、本部通常総会で既に承認済みの内容について、十川会員研修部長より説明が行われました。

また第1号議案「平成18年度事業実施計画並びに収支予算」についても、十川会員研修部長より説明があり、会員からも活発な質問・要望をいただきました。この中で本年1月から採用された柴田治彦事務局長が月～金の9時～18時まで常勤で対応している旨、紹介がありました。第2号議案「支部規定変更」については、本部の定款変更によるもので、①用語の整理②協会理事選任と支部の運営幹部・運営協議員の選任を分割③全国の支部規定を統一させるということで修正されたことが説明されました。1号・2号議案とも満場の拍手で承認され、今年度推進役となる運営幹部・運営協議員・事務局職員の自己紹介で予定していた議事が終了し、平成18年度北海道支部総会を閉会しました。

総会終了後、すぐ隣の会場で開かれた懇親会には28名の方々が参加され、永井事業推進部長の司会でお互いの近況報告など語り合いとても和やかな時間を持てたようでした。こうした機会を続ける事で昔の仲間と刺激しあったり、新しい仲間と交流する場となり、会員同士のつながりが深まることで、支部活動も活発になっていくような頼もしさを感じながらすべてのプログラムが終了しました。



懇親会の和やかな雰囲気



熱心に討議されている総会の様子

また懇親会に先立ち、今後の支部運営や活動の参考にさせていただくためのアンケートを実施しました。ご協力いただきました会員の皆様ありがとうございました。回収の結果は次頁のようになっております。皆様の声を反映した支部運営のために十分活かしていきたいと思っております。

平成18年度

北海道支部方針

1 中長期計画案の提示とその計画に基づき具体的な活動実施案の策定

- 1) 北海道全体の産業カウンセラーの認知と対応
 - 一極集中から複数教室実現の為に計画案作りを進める
 - 地区別の会員数の増加
 - 全道エリアへのカウンセラー派遣要請に応える
- 2) 北海道支部の組織活動の充実と参加型の組織づくり
 - 中長期計画案に基づく組織作りを志向し、会員参加型の組織運営を具体化する

2 会員の「各部門のプロフェッショナル」育成のためのロードマップの深耕

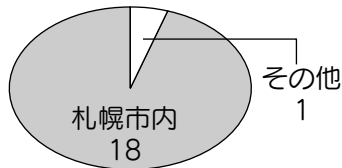
- 1) 北海道支部の育成プログラム、ロードマップ推進の研修・チーム作りと効率的な実践と力量アップ
 - 養成講座の実技指導者・相談事業部の派遣カウンセラー・事業推進部の講師チーム

3 1と2を循環させ、社会のニーズに応えられる信頼される産業カウンセラーの育成と社会へ送り出せる北海道支部の役割の実現の為に基盤づくり

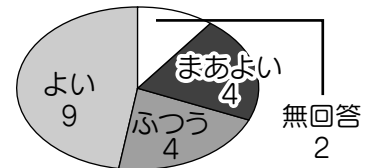
平成18年度 北海道支部通常総会 アンケート集計

平成18年6月24日 開催（出席30 回収19）

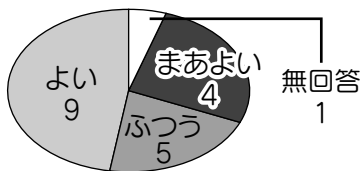
1. お住まいについて



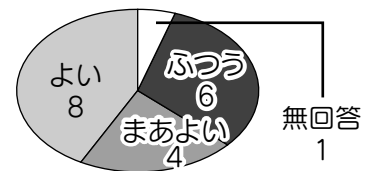
2. 通常総会の内容・進行について



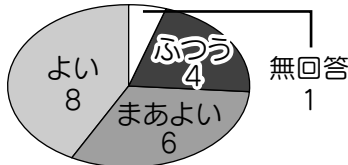
3. 平成17年度事業の取組状況について



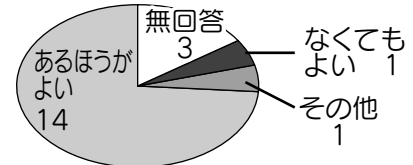
4. 平成18年度支部方針について



5. 平成18年度事業計画について



6. 親睦会について



7. ご自身の支部活動への参加について、どのようにお考えですか。

- ・研鑽の場と考えている。研修に出来るだけ参加したい。
- ・できるだけ時間が許す限り参加させて頂きたい。
- ・積極的に参加を希望しています。
- ・暗中模索、積極的に関われればと思います。
- ・間接的に活動支援していきたい。
- ・気持ちを確かめる。

8. 支部として今後の取り組むべき課題など、何でも自由にお書き下さい。

- ・産業カウンセラーとしての現場の声をたくさん聞きたいです。
- ・ロールプレイの修習の場を積極的に提供して欲しい。
- ・予定通り進めて下さい。
- ・人材育成（実技指導者、協会幹部、各種講師、カウンセラー）
- ・幹部会、運営協議会の強化
- ・ホームページの充実
- ・会員の増加。身近なものに。
- ・総会参加者の半数が役員とは。年々、出席の数が減っている。工夫を！

九州大会に参加して

5月27・28日福岡において開催された第36回の九州大会は、3シンポジウムと5分科会10テーマのプログラムが用意されていました。事前に講演集が送付されていたお陰で、予め聞きたいテーマを選択し、当日は会場をあちこち移動して、いろいろな発表を聞くことができました。ここではその中のいくつかのシンポジウムと分科会の雰囲気をご紹介しますと思います。

なお大会の内容は「産業カウンセリング6月号」に掲載されておりますのでご覧下さい。

(1)シンポジウムⅢ「企業内における産業医・保健スタッフとの連携」より

まず、「過重労働・メンタルヘルス対策と風通しの良い職場づくり」古山常務理事からは、2006年3月31日に告示された「労働者の心の健康の保持増進のための指針（メンタルヘルス指針）」は、2000年通達として出された「事業場における労働者の心の健康づくり指針」の内容を充実させたものである。適切かつ有効な実施のため、具体的に分かりやすいものになり、事業主は積極的な健康づくり、職場環境作りを求められている。労働者にとってWIN、企業としてもWINを実現するため、経営者団体への働きかけも産業カウンセラーの役割であることを、教えてくださいました。

次に、「産業精神保健における二次予防と一次予防」北里大学大学院助教授田中先生からは、企業内の産業医・産業看護職の精神保健活動の現状は、二次予防（メンタル不調者の早期発見・早期介入）と三次予防（職場復帰・再発防止）に追われていて、一次予防（精神疾患の発生予防と精神健康の保持増進）に手が回らない状態である。産業カウンセラーは、契約カウンセラーとしての立場の人が大半であろうが、その契約という枠の中で出来ることをやる。その方法や能力を身につけることが大事である。そして、産業カウンセラーは、学問的体系を踏まえて効果が見えるような専門性を発揮して欲しい。“無難”“仲良しクラブ”ではなくて、職種の専門性を尊重することを前提として、「前向きの協働」が重要であると、教えてくださいました。

私たち産業カウンセラーは、「産業」つまり企業・組織を知っていること、働く人々を守っている行政施策を理解していることが前提としてあり、それを基本として一次予防＝メンタルヘルス対策を、個人レベルと組織レベルで考えて関わっていくことが求められています。単に「カウンセリングしています」だけでは、企業や個人のニーズに応えているとは言えない。産業カウンセラーとしての役割が期待されることは、当然責任も大きくあり、やりがいに繋がる。しかし、その様な力が本当に自分にあるのか、今後どのように学んでいくと良いのかなど、学びの多いシンポジウムでした。（ S ）

(2)第1・2分科会「教育分野」「若年者のキャリア形成支援活動」より

今回の分科会是一个の発表が20分でプログラムされていたので、複数の分科会をまわる事が出来ました。その中で私は仕事のヒントになれば…と思い、実際に行われている「若年者のキャリア形成支援」や、「学校でのキャリア教育」の取組み等を拝聴してまわりました。ほとんどの発表でこれから社会に出て行く子供たちが、いかにして生きていく力、自ら考える力を育むために、どんな援助が必要で何を大切にしていかががテーマになっており、そこに産業カウンセラーとしてどう関わっているのか、現場の声を聞く事が出来ました。今後ますますいろんな視点を持ち、積極的な関わりを持てる産業カウンセラーが必要とされているのだと感じました。（ F ）

(3)第2分科会「協会活動の基盤整備と先駆的な活動」より

この分科会の中では「北海道支部相談事業部の取組みとその内容—支部認定派遣カウンセラー制度—」と題して、相談事業部長の山村さんより支部ロードマップに基づき、現在行われている派遣カウンセラーの育成研修やスキルアップのシステムなどが発表され、熱心にメモを取られている他支部の会員の姿が多く見受けられました。

発表を終えた感想を山村さんにお聞きしたところ、「分科会発表の機会をいただき、準備は大変でしたが、その過程も勉強になり、発表でも度胸をいただきました。そして何より、今後の支部活動への手がかりになったと思います。意味のある大会参加でした。今年参加されなかった方々！来年は岐阜開催です。一緒にまいりましょう！」と、力強いコメントをいただきました。

各部からのお知らせ

養成講座部

6月、8回目の養成講座では養成講座カリキュラムの理論学習48時間のうち、産業カウンセリングの発展、カウンセリングの理論、パーソナリティ理論など27時間が終了し、面接実習では3人一組から代表者実習に入りました。この時期の受講者さんは、「カウンセラーになりたい！から受講したのに、何でこんなことばかりさせるの？自分のこと言うなんて!？また宿題！」と、自分の心の中で言っていたことを仲間へ愚痴れる時期になって来た頃。学びの仲間へ支え支えられることは、心地よさと心強さがあるものです。

私たち実技指導者も先日、会員であり

フォーカシング・トレーナーの上村英生さんから研修を受けることが出来ました。私の感じている、「しなければならないことが山積み！でも時間がない！進まない！イライラする！」という状態をフォーカシングでは、「否定と同一化が一緒にある、つまり行き止まりの状態」。その状態は「起きていること」と「感じていること」に分けることが大切と教えていただきました。この研修で私たちは「ホッ！と癒され体験」をしました。会員という仲間へ支えられた、心地よいエネルギーを養成講座で出して行けたら！と思っています。

事業推進部

◎本年1月より準備等行ってまいりました認定講師の勉強会が立ち上がりました。

6月11日(日)17時より第一回認定講師勉強会が開催され、希望者14名（1名欠席）が出席され、①今年度以降の認定講師派遣の概要説明、②自己紹介—ここで認定講師希望者の派遣講師に対する、各人の熱い思いが語られました— ③次回以降の具体的な勉強会の日程、Aグループ第2水曜日、Bグループ第3火曜日、それぞれ18時30分～20時30分までが決定され、④順次サブ講師として派遣される日程まで決定されました。

最後に、桑原支部長から、産業カウ

ンセラー協会から派遣された、産業カウンセラーの資格を持つ認定講師であること、守秘義務をもつ組織としての信頼感、メンタルヘルスに関して組織的、専門的な対応から相談・教育まで、広範囲に対応が可能な組織から派遣されているという期待を持たれていることを忘れずに自己研鑽に努めて欲しいとのお話があり、19時に終了いたしました。

◎18年度の公開講座を12月7日(木)「かでの2・7」で開催する予定で準備しています。今回も会員皆様のご協力をお願いいたします。

シニア研修 「行動理論」

6月25日“かでの2・7”においてシニアコース講座「行動理論」が開催されました。

北海道医療大学心理学部臨床心理学科の教授であり、実際に臨床の現場に携わっていらっしゃる森伸幸先生の講座は大変興味深く、とても勉強になる充実した1日でした。

6時間という長丁場を考慮してか、1時間ずつテーマを区切ってわかりやすくお話をしていただき、参加者全員がどの時間も引き込まれるように聞き入っていました。

「行動理論」が今一つピンと来ていなかった私にとって《行動理論とは心の問題を行動からとらえること》とまず言われたところで頷いてしまいました。そして「やる気とは何だろう?」「カウンセリングに活かす行動理論」というテーマでお話を頂いた中で《やる気には自信と重要性（価値感）がある。自信もなく重要性を認識していない＝行動を変える準備ができていない＝行動を変える話をするのは逆効果＝抵抗を生む、先走りのプラン話となってしまう》《やる気は変えられない。周りの環境を変えること》【クライアントの準備が出来ていないのに、クライアントの問題解決がなによりも大切と思い込み行動を促すような話をしてしまっていないだろうか??カウンセラーの思い込みだけで事を進めてはいないだろうか??】等、思わず自分を省みる点が幾つもありました。そして森先生の『カウンセラーは主観と客観のバランスを保つのが大切である』という言葉にまだまだ勉強不足の自分を実感しました。

蛇足ですが、先生と娘さんの会話のやり取りが、森先生の人柄を表しているようでほのぼのとしたとても暖いものを感じました。

(M)



講義中の森先生

北海道支部認定カウンセラー育成研修

今年4月より行われている育成研修の状況を受講者として、ご紹介と感想を述べさせていただきます。

受講者は11名とこぢんまりとしたグループで、4月から毎月1回篠原由紀子先生を講師にお迎えし、輪読による研修を行っています。先生の印象としては、大変優しいかたで、本の内容について、また、今までの研修で勉強してきたことの疑問点などに誠意をもって答えてくださり、疑問が解消され、頭の中が整理されて行くので、私にとって気持ちの良い研修です。

また、受講者の中にはカウンセラーとしての相談経験のある方も見受けられ、色々な角度からの意見があるので、大変勉強になります。12月まで研修があるので、これからの研修を楽しみにしています。

最後に、今回研修に使用している本を紹介します。この本は篠原先生が選定した本で、初心者がかウンセリングを行う場合の状況を踏まえ、懇切丁寧に細かい助言が書いてある本です。実際のかウンセリングに役に立つ本と思いますので、興味のある方は読んでみてください。(書店にあまりないのでネット購入が便利です。)

(樋口)

題名：心理療法入門 初心者のためのガイド

著者：J.S.ザロ/R.バラック/D.J.ネーデルマン/I.S.ドレイブラット 共著

訳者：森野礼一/倉光 修 共訳 発行：誠信書房 定価：2,800円+税

体験 顔つぼマッサージ

ストレス社会の中で、最近「リラックス」を売り物？としているものが氾濫していますね。足やアロマ等は耳慣れてきていますが今回「顔つぼ」と聞いて早速体験してきました。

エステのような場所で始まったので「なんだ エステカー」と思ったのが大間違い。いきなりコメカミを押されて悲鳴をあげるほどの痛みがはしりました。思わずもう少し弱く…とお願いしました。それでも頬骨の周りや顎のラインを押されるとかなりの痛みがあり、顔中に「内出血」が出来たらどうしようと思いながらマッサージを受けていました。

こんなに痛いということは「顔」も凝っているということなののでしょうか？まあ確かに仕事では「常に笑顔」を作っているのです、知らないうちに顔にも疲労がたまっているのですね。長い？痛みに耐えた後は自分でも驚くほど「お目目ぱっちり」になっていました。効果は絶大のようです。ただ…次にあの痛みを押してまで行こうかどうか思案中です。お金をかけなくても、お風呂でゆっくり汗をかいたり、蒸しタオルで表情筋をほぐすだけでも違うかもしれません。疲労は顔にも（皺だけじゃなくて）忍び寄っているようです。ちなみに目の疲れから頭痛がするときは、眉間を3箇所（右の眉頭⇒真中⇒左の眉頭×3セット）を押すと少し楽になるようです。ぜひお試しください。そして凝りのない笑顔で楽しい毎日を過ごしましょう。

帯広にて開催

会員研修

「認知行動療法概論」

総会でご報告したとおり、本年度は地方都市での研修開催を増やすため、旭川と帯広で各1回開催を予定し、7月8日に帯広分が終了したのでご報告します。

地方都市分は「認知行動療法」をテーマに道医療大の坂野雄二教授にお願いしていましたが、帯広分は運営協議会からの提案で一般参加可能の特別研修となりました。

参加者は11名ほどと少数で、半分以上は一般参加の方でしたが、先生のお人柄が身近に感じられる研修だったことと、先生から会場の「とがちプラザ」を大変お褒めいただいたのが印象的でした。

旭川以外での実施は初の試みとあって心配しておりましたが、一般募集に大変なご尽力いただきました帯広在住会員の石田さんをはじめ、多くの方に支えられて無事に終えることができましたこと、紙面をお借りしてお礼申し上げます。

(会員研修部)



帯広で講義されている坂野先生

行事等のお知らせ

研

修

試

験

シニアコース講座

面接記録の取り方・事例の書き方・見立て

日時：9月16日(土) 9:30~17:30
場所：かでの2・7(札幌市中央区北2条西7丁目)
講師：森川千鶴子(当協会常務理事)
定員：20名
申込締切：9月1日(金)
受講費用：13,000円

逐語記録検討1

日時：9月17日(日)・18日(月)・(祝)
9:15~17:15
場所：かでの2・7(札幌市中央区北2条西7丁目)
講師：森川千鶴子(当協会常務理事)
定員：20名
申込締切：9月1日(金)
受講費用：26,000円
※上記2コースで向上訓練：演習1にあたります。

一般研修

カウンセリングにおける見立て ～発達心理学的理解②～

内容：青年期における自我発達課題について概説し、青年の適応問題への援助について検討する。
日時：9月25日(月) 18:30~20:30
場所：かでの2・7 540会議室
札幌市中央区北2条西7丁目
講師：清水信介北星学園大学教授
定員：30名(会員のみのみ)
申込締切：9月15日(金)
受講費用：1,000円

認知行動療法概論

日時：9月30日(土) 14:00~16:00
場所：ときわ市民ホール(予定)
旭川市5条通4丁目
講師：坂野雄二北海道医療大学教授
定員：20名(会員のみのみ)
申込締切：9月20日(木)
受講費用：1,000円

キャリアコンサルタント試験

日時：学科～9月2日(土)
実技～9月3日(日)
場所：学科～札幌 他
実技～東京・大阪

シニア産業カウンセラー試験

日時：学科～11月11日(土)
実技～11月12日(日)
出願締切：9月11日(月)消印有効
※現在、受験要領を配布中。詳しい受験資格及び請求方法は「産業カウンセリング6月号」をご覧ください。

その他

第1回北海道自殺予防フォーラム

～みんなで考える自殺予防～

日時：平成18年9月10日(日)
＜世界自殺予防デー＞13:00~16:00
会場：自治労会館5階大ホール(360名収容)
(札幌市北区北6条西7丁目)
対象：自殺予防に関する従事者、一般道民
会費：無料
主催：北海道 共催：札幌市
後援：日本産業カウンセラー協会北海道支部 他
※パネルディスカッションには当支部の桑原支部長がパネリストとして出席されます。

会員からのお知らせ

～フォーカシング・ワークショップ～

日程：10月21日(土)、22日(日)
場所：エルプラザ(札幌市北区北8西3)
定員：各50人
費用：21日12,000円 22日17,000円

1日のみの受講も可

※詳細は下記へお問い合わせ下さい。

連絡先：上村 英生

電話&FAX 011-588-3877

メール：kamimura.hideki78@indigo.plala.or.jp

編集後記

大切な情報をわかり易くお届けできるよう
試行錯誤の日々。より身近で為になる広報誌を目指し部員一同取組んでいます。(M・F)